

市民が主役の市政を実現する会ニュース

- 発行：市民が主役の市政を実現する会
- 発行日：2022年8月20日
- 代表：桜井 美徳
- お問合せ：090-6473-3172(三田)

八千代医療センター 内科系5科で新規受付中止! が医療崩壊へ! 病院誘致した市は問題解決へ動け!

22年前に地域医療の中核病院として市が東京女子医大を誘致。
しかし当初から問題があった!

八千代市は2000年に東京女子医大病院の誘致を開始。八千代医療センターは八千代市の中核病院であり、市民病院として位置づけられて運営されています。しかし、誘致をめぐって当時から問題がありました。誘致の選定にあたって事実上入札はなく「東京女子医大ありき」だったこと。当時

「補助金はいらぬ」と申し入れていたT病院を断った誘致でした。「なぜ東京女子医大なのか」という市民への説明もなく誘致が進められたことに、市民合意を求める市民運動や住民訴訟が起きました。このように当初から八千代医療センターは問題を抱えての設立だったのです。

続出する医師・医療スタッフの退職。 毎年黒字決算の医療センターに何が起きた?

市は開院した2004年から補助金交付を開始し、昨年度までに約107億5000千万円を投入してきました。

八千代医療センターは別表にもあるように毎年黒字決算で、経営状況もいいはずですが、しかし、医師を始めとした医療スタッフの退職に歯止めがかかりません。医療センターで何が起きているのでしょうか。
(裏面へつづく)



八千代医療センターは毎年黒字(収支計算書より)

秋季市民学習会 八千代医療センター問題を考える

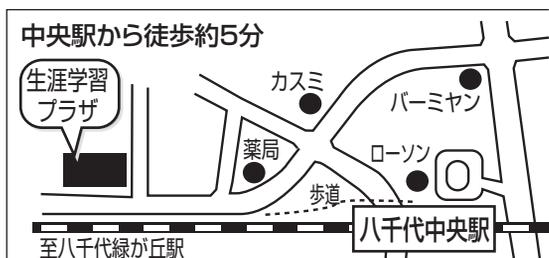
第1部／基調報告(市民が主役の市政を実現する会事務局長・三田 登)

第2部／意見交換会

●日時: 10月9日(日)午後1:30~3:30

●会場: 八千代生涯学習プラザ(第1~第2研修室)

●主催: 市民が主役の市政を実現する会



裏面へ

医師不足で5科が新規受付中止。転院を余儀なくされる従来患者たち！

昨年1月段階の常勤医師は214人。しかし、本年1月段階では189人と25人も減っており、さらに減る可能性も指摘されています。看護師などの医療スタッフも同様です。その結果、血液内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌代謝内科、リウマチ・膠

原病内科、皮膚科の5科は新規受付を1年以上も中止。現在は限られた医師で従来患者をかるうじて診療していますが、それでは間に合わず従来患者にも他の医療機関に転院を要請している始末です。これで市の中核病院と言えるのでしょうか。

背景にあるのは女子医大本院経営陣のワンマン体質と営利主義！

では、なぜ医師らがすぐ辞めてしまうのでしょうか。それは給料などの待遇が大学病院としては最低ランクだからです。恵まれた経営環境にありながら、人員削減と低賃金、労働環境の悪化に嫌気がさした医師やスタッフが次々と辞めたことが原因でした。

実は、八千代医療センターは独立採算ではなく、東京女子医大病院本院の支配下にあります。そのトップが女子医大創立者一族の現理事長です。理事長は近年、大幅リストラや徹底したコストカットを強引に進めてきました。

いくら募集しても希望者がいない東京女子医大～医療センターの現状

ちなみに本院もここ5年は黒字決算を続けており、2020年度は約83億円の黒字でした。にもかかわらず全職員対象にボーナスゼロを通告。約400人の看護師などが一斉に退職の意向を表明したことが大きくマスコミ報道されました。

さらに、昨年には医師100人以上が労働条件の不利益変更などで一斉に退職したことも問題になりました。また、オーナー理事長の恐怖政治も大きな原因になっています。それを知っている医師らは、いくら病院が募集しても希望者がいないのです。

名前だけの「運営協議会」

市民病院としての機能回復へ服部市長は責任を果たせ！

八千代医療センターは一般の民間病院ではありません。八千代市と提携した医療機関である市民病院です。だから「八千代医療センター運営協議会」という協議機関があります。この協議会を通して病院運営での問題解決を図ることが本来の姿ですが、招集や運営などの権限は病院長に委任されており、もっぱら病院側の一方的な報告で終わるもので、とても協議会とは言えません。

市側も「病院運営に支障をきたしている」と認めています。それにもかかわらず市側は何ら有効な対策を打ち出せないでいます。

また、「行政のトップである服部市長が運営協議会に参加して、問題解決に先頭で動くべきだ」という6月議会での質問議員の指摘に対して「必要で

あれば参加する」という信じ難い呑気な答弁をしています。まさに「今でしょ！」。

服部市長は根本原因である本院理事長と直接交渉して問題解決をはかる責任があります。



このままでは医療崩壊に向かう医療センター